

# 三瀨保育園 園だより

April 2023

## ご入園・ご進級おめでとうございます

柔らかな日差しが心地よく、桜の花びらは春風に誘われひらひらと舞い踊り、子ども達の入園・進級をお祝いしているようです。

令和5年度は、27名の新園児を迎え、129名よりスタートします。

ドキドキ・ワクワクと期待と意欲で胸を躍らせる子、初めての園生活に緊張した表情を見せる子等、様々な感情を見せる子ども達ですが、一人ひとりの思いに寄り添い、受け止めながら、一日一日成長していく姿をしっかり見守っていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、春の保育園はとっても賑やか。

初めての保育園、新しい先生・環境に戸惑い、子ども達の様々な姿が現れます。例えば、泣く、叫ぶ、怒る、遠くから離れて見る、など。これは子ども達からの大切なメッセージ。大人だって今までの環境と変われば戸惑いますよね。ですから、この大人なら大丈夫と思ってもらえるように、私達は子どもの心に届くように声をかけていきます。しばらくの間は、ご家族の方も後ろ髪を引かれながら園を離れる朝があるかもしれませんが、子ども達の心にそっと触れ、見守っていただけたらと思います。すぐにではないかもしれませんが、子ども達は少しずつ自分の『好き』を見つけ、自分の世界に夢中になっていきます。子どもの新しい生活をご家族と共に喜び合えたらと思います。

3年間のコロナ生活も少しずつ落ち着き、マスク着用の緩和など今まで当たり前だった生活から変わろうとしています。子ども達にとって大人の表情が分かるということはとっても大切なこと。これまでに互いになかなか見せることができなかった表情をたくさん見せ合い、笑ったり泣いたり喧嘩したり、感情豊かに育ってほしいですね。

名頭園 弥生

## クラス目標 ~1か月大切にしたいこと~

### たんぽぽ組

- ・新し環境や保育者に慣れ、安心して過ごす。
- ・ゆったりとした雰囲気の中で、遊びや食事を楽しむ。

### もも組

- ・新しい環境に慣れ、安心して過ごす。
- ・春の自然に触れながら、植物や生き物に興味を持つ。

### ばら組

- ・保育者との関わりの中で、情緒が安定し、安心して過ごす。
- ・進級したことを喜び、他児との関わりや新しいクラスでの遊びを楽しむ。

### うめ組

- ・春の自然を見つけて楽しむ。
- ・進級したことに喜びを感じ、新しい環境に慣れる。

### すみれ組

- ・進級したという喜びを感じ、新しい職員と一緒に安心して過ごす。
- ・春の自然に親しみ、詳しく調べようとしてたり遊びの中で使ったりしようとする。

### ゆり組

- ・新しい環境での生活の仕方がわかり、身の回りのことを自ら進んでしようとする。
- ・春の自然や様々な素材に触れ、遊びに活かしたり観察して楽しむ。

## 4月の行事

1日(土) 入園式・進級式

5日(水) お弁当の日

お花見パーティー

12日(水) 内科検診(14:00~)

14日(金) 避難訓練

20日(木) 歯科検診(11:00~)

26日(水) 内科検診(14:00~)

27日(木) お誕生会

### 【身体測定week】

24日(月)~28日(金)

◆YYプロジェクト◆  
10日(月)(すみれ・ゆり組)

◆うめ組体操教室◆  
7日(金)・21日(金)

◆英語教室◆  
7日(金)・21日(金)  
(すみれ・ゆり組)

# 子ども達の未来を見据えて

～園内研修より～

名頭園 弥生

私たちは月に1回、みんなで集まり園内研修をしています。

そこでは2018年に改訂された保育指針について学び合ったり、クラスの子どもの様子を語り合ったりと日々の振り返りをしています。そうすることで子どもの気づき・発見のおもしろさを感じたり、子どもの姿・表情の変化について気づいたりと様々な刺激を得てそれぞれの学びへと繋がっています。また、他のクラスの活動内容を聞いては魅力を感じ、自分のクラスだったらどんなことに気付き、発展するだろうかと考える楽しい時間でもあります。

前回は行われた研修では、「集める保育」と「集まる保育」というキーワードが出ました。

「集める保育」とは「〇〇組さん！これから〇〇の時間だよ！」「この時間は△△に興味をもってみんなで楽しもうね」という保育。子どもは大人が計画したプランに従っていく、保育者主導の保育。つまり子ども達は受け身で「これが学びです！」と大人が示した固定化された学びを得るような時間を過ごします。決められたルールの中でしか学びを得ることが出来ないのです。

対して、「集まる保育」とはどんなものだろう…と。私が考えたのは、子ども達が自然現象の中で発見をしたり遊びを見つけたり、その中に保育者が関わりながら共に学んだり、自然と人が集まり保育が展開するということなのかなと考えました。これが正解とは言えませんが、私達が子どもの為に大切にしたい事は、**「失敗や試行錯誤を重ねながら時間を忘れて没頭する・遊び込める環境を作ること」**だと思っています。これは、子ども達の感覚や感性、全身を使つての動き、柔軟な発想や思考、異年齢での協同性が育つたりすると考えているからです。

そんな最近の保育の変化に向き合っていると、子ども達の様子も変化してきたと感じるようになりました。これは、子どもがどう感じるかを大切にしておしてきたからだと思います。私達は研修や振り返りを日々繰り返しながら、少しずつ実践が伴い始め、今まで以上に子ども達が生き生きとした表情に変わってきた

と実感しています。これからはもっと自分の頭で考え、想いを伝え実行に移す、そんな子ども達を育てたいと思っています。

行事なども「大人の満足はさておき」と、子ども達が一つのことを通してどれだけ満足や達成感を感じ、前向きに取り組んでいるかを見ています。

園長の言葉を借りると、今までは「**ちゃんと教えて、ちゃんとやる！**」でしたが、これからは「**ちゃんと考えて、ちゃんとやる！**」。

この二つの文章は「主語」が違います。前者は「大人」、後者は「子ども」が主役です。つまり「**ちゃんと考えて、ちゃんとやる！**」は、「子ども主体」の時間を大切にしているのです。

また、職員みんなで「かぜが吹いても、立ってられる人とは？」とディスカッションもしました。

「いろんなことを経験している」「自分を信じ、認めることができる」「行動することを恐れない」「失敗を沢山経験し、次に繋げることができる」「周りに助けを求められる。また、助けることができる」「話せる相手がいる」「向上心がある」…等々。

これらは、我々が教えてあげられない、自力で経験し、体得していくしかないスキルかもしれません。これはきっと自立した大人になっていくためには大切なことでしょう。だからこそ、保育の中でも自分で考えて行動することを大切にしたいのだと改めて感じました。私達は「小さな・幼い子だから」ではなく「一人の人間」として関わりながら、子ども達の未来を見据えて保育をしていきたいと思えます。

少しずつ変わる私達の保育に長年通っていただいているご家庭は戸惑うことがあるかもしれません。しかし、私達が現在大切にしていることをお伝えしたうえで、子ども達一人ずつの可能性を感じているからこそその「子どもを真ん中に置いた保育」を是非サポートしていただければと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。